

公的部門に関する検討委員会の審議経過と今後の課題

公的部門に関する検討委員会は、「SNAにおける公的部門のデータに関する概念・表章項目のアップデートについて調査審議を行い、利用者のニーズを反映した勘定整備に資する」ために、平成18年7月に設置され、18年10月10日の第1回会合以来、計3回の検討を重ねた（開催状況は別紙参照）。国民経済計算調査会議総会の開催にあたり、これまでの審議経過と今後の課題を、事務局において整理した。

1. 審議経過

(1) 第1回検討委員会

当該検討委員会における検討対象と考えられるテーマ等について事務局から説明があり、調査審議の方向等について議論を行った。

(2) 第2回検討委員会

公的部門推計改善のための検討課題の範囲、タイムスケジュールを明確化するため、

① 公的部門推計改善のための工程表（素案）

について事務局から説明があり、議論を行った。

また、具体的な政府諸機関の分類（格付け）例として、

② 道路関係四公団の民営化に伴うSNA上の対応（平成17年度確報）

について事務局から説明があり、議論を行った。

(3) 第3回検討委員会

第2回に引き続き、政府諸機関の分類（格付け）に関連して、

① 「Network Rail Status問題と英国統計制度」

について作間委員よりプレゼンテーションしていただいた。

さらに、

② 道路関係四公団の民営化に伴うSNA上の対応（道路資産に関する企業会計上の処理との関係整理及び高速道路機構の部門分類）

③ 日本郵政公社の民営化（19年10月）における格付けの検討

について事務局より説明があり、議論を行った。

2. 今後の課題

19年10月に民営化される日本郵政公社の分類について来年初までに結論を得る。また、公的部門推計改善のための工程表をより具体化するとともに、我が国の国民経済計算における政府諸機関の分類（格付け）の枠組みのあり方など、工程表に含まれる個々の課題についても議論していく。

公的部門に関する検討委員会について

1. 構成員

委員名簿（平成 19 年 9 月 12 日現在、五十音順、○印は委員長）

- | | | |
|---|--------|---------------------------|
| | 跡田 直澄 | 慶応大学商学部教授 |
| | 岩本 康志 | 東京大学大学院経済学研究科教授、公共政策大学院教授 |
| | 作間 逸雄 | 専修大学経済学部教授 |
| | 関川 正 | 公認会計士 |
| ○ | 中村 洋一 | 法政大学工学部教授 |
| | 藤井 眞理子 | 東京大学先端科学技術センター教授 |
| | 山本 清 | 国立大学財務・経営センター教授 |

2. 公的部門に関する検討委員会開催状況

開催数	日時	主な議題
第 1 回	H18. 10. 10	・ 調査審議の方向等について 検討対象と考えられるテーマ等の整理 等
第 2 回	H19. 3. 14	・ 公的部門推計改善のための工程表（素案）について ・ 道路関係四公団の民営化に伴う SNA 上の対応について
第 3 回	H19. 6. 21	・ 作間委員からのプレゼンテーション ・ 道路関係四公団の民営化に伴う SNA 上の対応について ・ 日本郵政公社の民営化における格付けの検討について